

第 23 回都道府県 がん診療連携拠点病院連絡協議会
情報提供・相談支援部会 議事要旨

日 時 : 2024 年 11 月 21 日 (木) 13:00-15:00

開催形式 : オンライン開催(Zoomミーティング)

1. 開会の挨拶

(国立がん研究センターがん対策研究所 副所長 井上真奈美)

本日は、部会運営委員会の設置、ピア・サポーター養成や活躍の場の創出に関する話があると聞いている。部会運営にあたってはみなさまの声が大切である。情報提供・相談支援を取り巻く課題に対し、本日の全国部会で検討すべき事項があれば、ぜひ積極的にご発言いただきたい。ピアサポートについては、拠点病院とピア・サポーターや患者団体の連携が求められているところである。本日の講演やディスカッションをきっかけに、自県や自施設での取り組みに活かしていただきたい。

2. 厚生労働省より挨拶

(厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 相談支援専門官 戸石 輝 様)

がん対策において、情報提供・相談支援が非常に重要であることは言うまでもなく、情報提供・相談支援部会をどのように運用していくのか、意見を取りまとめていくのかをご検討いただくことは重要であると考えている。本日の議事にあるピア・サポーターに関することは、第4期がん対策推進基本計画において、相談支援の部分で記載をしている。また、全体目標を「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」としており、質の高い相談支援や情報提供が、持続可能な体制で行われることが重要であると考えている。本日の議論や発表が皆様の今日からの実践に役立つことを期待するとともに、様々な課題や効果的な実践などを共有いただけると幸いである。

本日の出席者について

(国立がん研究センター がん対策研究所 情報提供・相談支援部会事務局 宮本 紗代)

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 参加施設の情報提供・相談支援の責任者またはそれに準ずる方、実務者の方々、また小児がん拠点病院相談支援部会の相談員の皆様と、都道府県のがん対策主管課の皆様にもオブザーバーとして、全体で170名ほどの方に参加いただいている。また、休憩を挟んだの後半には、地域拠点病院の皆様もオブザーバー参加予定となっている。

オブザーバー紹介 (がん対策研究所 宮本)

特定非営利活動法人 京都ワーキング・サバイバー 理事長 前田 留里 様

小児脳腫瘍の会 代表／一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク 副理事長 馬上 祐子 様

3. 本日の概要 **資料 3** スライド 4

(都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会 部会長／
国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報提供部長 松岡 豊)

4. 情報提供・相談支援部会のあり方 **資料 3** スライド 5～23

(国立がん研究センター がん対策研究所 情報提供・相談支援部会事務局 小郷 祐子)

ディスカッション

- 1) 案の通り、情報提供・相談支援部会運営委員会を発足する
- 2) 情報提供・相談支援部会レベルで解決困難な課題については、改善策（要望）を具体化し、国協議会にも課題や改善策を共有した上で、今まで通り厚労省に対し直接提案する方向とする
上記について、賛同いただけるか

(琉球大学病院 増田昌人委員)

2) については、反対である。情報提供・相談支援部会はあくまで国協議会の下部会として設置されており、その役割は下部会で議論された内容を国協議会に報告し、必要に応じて検討・意思決定を行うことにある。そのため、下部会で問題提起された内容が国協議会で検討されないというのは、協議体の在り方として不適切と思われる。さらに、厚労省に向けた文書を提出する際も、国協議会の承認や後ろ盾が得られる。

(がん研究会有明病院 花出委員)

がん相談支援センターは、依然として院内での立場が弱い部門であるため、病院管理者が相談支援の重要性や役割について理解し、適切に支援することが必要である。現在、がん相談支援センターが果たしている役割を考えると、その活動や課題に関する議論が国協議会を経ないというのは、現段階では慎重な検討が必要ではないかと考える。

(情報提供・相談支援部会 部会長 松岡 豊)

がん診療に関わる内容、高齢社会への対応等国協議会として議論するべき事項があることも考えられるため、情報提供・相談支援部会として必要な事項は報告するなどご意見を踏まえ考慮していく。また、全国がんセンター協議会の第2回施設長会では、がん相談支援センターの人員体制及び業務の実態調査を行ってはどうかという提案がされたところ。参考までに情報共有する。

それでは1) に関しては、ご承認いただいたということで、運営委員会のみなさまに一言ご挨拶を賜りたい。

運営委員のみなさまよりご挨拶をいただいた。

- ・都立駒込病院 山内智博委員
- ・三重大学医学部附属病院 水野聡朗委員
- ・琉球大学病院 増田昌人委員

- ・青森県立中央病院 坂本周子委員
- ・福島県立医科大学附属病院 齋藤慎也委員
- ・京都市立病院 松村優子委員
- ・四国がんセンター 福島美幸委員

5. ピア・サポーター養成と活躍の場創出に関する好事例の共有

- ・基本計画・整備指針におけるピア・サポーターの位置づけ **資料 3** スライド 26～34

(厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 相談支援専門官 戸石 輝 様)

- ・山形県におけるピア・サポーター養成と活躍の場の創出の取組 **資料 3** スライド 36～65

(公益財団法人やまがた健康推進機構 山形県がん総合相談支援センター 松田 芳美 様)

- ・質疑応答 (進行: 情報提供・相談支援部会 部会長 松岡 豊)

(琉球大学病院 増田昌人委員)

沖縄県でも地域統括相談支援センターを設置しているが、やはりピア・サポーターの活躍の場を確保できず、修了生の半分程度しか活動できていないという反省点がある。また、沖縄県のピア・サポーターは1対1で対応するのが基本だが、山形県ではサロンでの活動が主体で、1対1の活動においてはがん相談専門員も入るとのことなので、そのあたりの経緯をお伺いしたい。

(山形県がん総合相談支援センター 松田様)

1対1の活動は受けた方のリアクションが大変良かったので、今後もぜひ続けていきたいと考えている。またがん相談専門員の同席については、現時点では記録に残す必要があるため同席しているが、将来的にどうするかはまた検討していきたい。

(四国がんセンター 福島委員)

支援プログラムで相談員の方2名が支援しているとのことだが、こういった職種の方が担当されているのか教えていただきたい。

(山形県がん総合相談支援センター 松田様)

検診センターということもあって保健師と看護師が主に関わっているが、私も含めて、専任相談員が2人入り、そこに兼任の者が入るという形でやっている。保健師は相談業務に長けていることから、よいサポートになっていると考える。

- 6. 相談員研修、国立がん研究センター認定事業について **資料 3** スライド 68～78

(国立がん研究センター がん対策研究所 情報提供・相談支援部会事務局 櫻井 雅代)

7. その他

・オブザーバーからのコメント

京都ワーキング・サバイバー 理事長 前田 留里 様

京都で働く世代のがん患者支援の活動を始めて9年、乳がん経験者の立場からコメントさせていただきたい。現場の声を課題にまとめ、国の政策提言にさせていただけることは大変ありがたく、その取組に期待している。またピア・サポート事業の認知向上や、患者がアクセスしやすい環境づくりもぜひ進めていただきたく、さらにピア・サポーターが孤立しないような横のつながりの仕組みづくりも、拠点病院で検討していただければありがたい。山形でのピア・サポーター育成から活動継続までの取組は、各種の工夫やサポートがなされていてすばらしい。オンラインでの取組の活動は他地域でも参考にさせていただきたいモデルだと思う。

またピア・サポーターの意見を相談支援センターに伝えたり、意見交換をする患者・市民参画のような仕組みがあれば、より相談の質の向上やピアサポートの活性化にもつながるのではないかな。

小児脳腫瘍の会 代表／日本希少がん患者会ネットワーク理事長 馬上 祐子 様

私どもは小児脳腫瘍の会を含めて、小児・AYAがんの患者会、成人希少患者会等20団体と個人会員から成る団体だが、希少がん患者・家族は治療の情報が得られず窮している方も多い。先ほどご案内のあった院内がん登録の症例数検索をぜひ周知していきたいが、相談支援センターに希少がんの情報があることを知らない方も多いため、こちらの周知もお願いしたい。

私どももオンラインで患者同士のつながりの支援をしているが、山形における相談支援センターからピアサポートを精力的に広げておられる試みはすばらしい。希少がんについても県を超えた広域でのピアサポート活動の仕組みづくりをぜひお願いしたいし、その際にはお声がけもいただきたい。

また希少がんキャラバンと称する活動についても各地で行っているので、各地にお伺いした折にはご協力いただけたらありがたい。

8. 閉会の挨拶

(都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会 部会長 松岡 豊)

この度、皆様にご承認いただいた運営委員会に皆様のご意見を持ち帰り検討させていただきたい。

次回は対面開催となるので、顔の見える関係性をつくりながら、さらにこの部会を盛り上げていきたい。どうぞよろしく願いいたします。

以上